NEWS LETTER

連続自治体特別企画セミナー 年間計画

特別企画１１月１９日（水）
＊注意＊16：15～です
第４回　１１月２７日（木）
第５回　１月２９日（木）
※第２回の順延日です
第６回　２月１２日（木）

＊時間は全て、15：00～17：15を予定しております。

✦詳細が決まり次第、ニュースレターやHP、Facebookなどでご連絡いたします

後援等について

KPIでは、共催や後援、協賛、協力というかたちで、地方自治体や企業、NPOと連携しながらイベント等を開催しています。
ご希望の方はKPIホームページの「諸手続き」にある、「後援等申請書」にご記入の上、メール又はFAXにてご連絡ください。

京都府立大学
京都政策研究センター
〒606-8522
京都市左京区下鴨半木町1-5
Tel & Fax : 075-703-5319
mail : kpiinfo@kpu.ac.jp

セミナーのご案内やニュースレターなどをメールマガジンで配信しています。ご希望の方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。

報告

これからの地方自治・地方政策を考える

連続自治体特別企画セミナー 第３回セミナー

９月25日（木）、岡山県真庭市の太田昇（おおたのぼる）市長をお迎えし、「里山資本主義の自治体づくり・まちづくり」を開催しました。太田市長にご講演頂いたあと、本学大学院生命環境科学研究科の宮藤久士（みやふじひさし）准教授に15分程のミニ講義をしていただき、太田市長と宮藤准教授に対談していただきました。

真庭市ではバイオマスの利活用が積極的に行われていますが、その他にも中山間地域振興にも力を入れており、都市部とは異なる、真庭市ならではの「質の高い」「豊かな」「安定した」生活＝「真庭ライフスタイル」を構築し、その魅力を積極的に外へ発信していこうとしています。

また、宮藤准教授のミニ講義では、木質バイオマスの有用性について、非常にわかりやすく説明していただきました。

【参加者の声】
・太田市長のふるさとへの思い、まちづくりに対する思いがひしひしと伝わってきました。ぜひ一度行ってみたい。自分の目で確かめてみたいと思っています。（京都府内市町村職員）
・「政治家太田市長」と「科学者宮藤先生」の対話が非常におもしろかった。いつもとちがう切り口で楽しかった。（京都府内市町村職員）
・「文化」が重要だと感じました。生きていく上で、文化は心を豊かにするもの、誇りをもつために必要なものだと感じました。（京都府職員）
・宮藤准教授の講義でありました、木質バイオマスの活用方法の広さには驚きましたが、是非日常生活に組み込めるようにしていただきたいです。（京都府職員）
・お話を聞くと、公的環境水の利用をしていくことで１つの市で第一次産業ができるかもしれないと思いました。私的には養殖（農村での）においてもより適当な場所で特化していくことが多地域の交流というか活性化になると思いました。（京都府立大学学生・院生）
・今注目されている、活躍されているリーダー、地域の実態を、タイムリーに聞けたことを今後の活動の中で生かしたい。（会社員）

お知らせ

野洲モデル

第４回セミナーのご案内

「ガバメント再考！「自治体セーフティネット」の新展開」

１１月２７日（木）１５：００～１７：１５

場　所：京都府職員研修・研究支援センター２F　視聴覚室

講　師：山仲　善彰(やまなか　よしあき)市長(滋賀県野洲市)
対談者：小沢　修司(おざわ　しゅうじ)教授（京都府立大学副学長/公共政策学部）

山仲市長から…

野洲市では、「一人を伸ばせない／救えない制度は、誰をも伸ばせない／救えない」を理念に、学童保育、市民生活相談、地域包括支援センター、コミュニティバスや文化施設等の直営化、市民病院の新設など公共サービスの拡充を進めています。

その背景にあるのは、市民の主体的な参加と意思決定により市民の安全と幸福を実現するという考え方です。そのなかで自治体は主要な役割を担っています。

目的は公共サービスの提供にあり、その分野は、①伸びようとする市民や企業の成長を支える、②困難な状況にある市民や企業の自立を支える、③秩序と安全を守ることの3つに集約されます。公共サービスの提供主体は自治体に限りませんが、自治体の役割と責任がもっとも重大です。

今回のセミナーでは、自治体セーフティネットのあり方からガバメントを再考したいと思います。

※お申込はお申込フォーム、メール、FAXにて受け付けております。
また、ホームページでも年間計画をご覧頂けます。

写真は10月22日開催の、日本経済研究所との共催で開催した「公共施設は誰のものか？」セミナーの様子。

共催セミナー

「公共施設は誰のものか？～つくらない時代の地域デザインを考える～」

報告

10月22日、稲盛記念会館ではKPI初のセミナーとして、「公共施設は誰のものか」と題して、公共施設マネジメントをテーマにセミナーを開催しました。近年、自治体では人口減少や少子高齢化、合併、財政上の制約等により、公共施設の整備や維持管理のあり方を大きく見直す時機を迎えています。

そこで、今回のセミナーでは、(株)日本経済研究所からは公共施設マネジメントの必要性、先進的な取り組み事例の紹介をいただき、(株)青木茂建築工房の青木氏からは廃止された公共施設を見事に蘇らせるリファイニングの実例をご紹介いただきました。また、行政の現場からの事例報告として、今夏愛媛県で開催された『行革甲子園2014』で優勝した今治市から、公の施設等の評価及びあり方方針の策定について報告いただきました。

後半のパネルディスカッションでは、青山センター長のコーディネートのもと、川勝准教授にも加わっていただき、財政的な知見も踏まえて、公共施設を取り巻く住民感情を踏まえた今後のまちづくり、地域政策のあり方を議論いただきました。

連続自治体特別企画セミナー特別企画

「地域に飛び出す公務員in京都府立大学」を開催します

お知らせ

１１月１９日（水）１６：１５～１８：１５

場　所：京都府立大学　稲盛記念会館１階　１０２講義室

申込〆切　11/10（月）

今回の特別企画では、実際に地域に入りながら活躍を続けられている４名の公務員の方々をお迎えし、それぞれの活動について報告していただきます。また、セミナー終了後には講師の方を囲んで、大学内のレストランにて懇親会も開催します。

詳細・お申込はKPIホームページをご覧ください。お申込はお申込フォーム、FAX、メールにて受け付けております。懇親会参加をご希望の方は、あわせてご連絡ください。

講演①「公務員が変われば、地域は変わる」 前神有里氏((一財)地域活性化センター（愛媛県庁から派遣))

講演②「NPOとして、公務員として」 鈴木康久氏(京都府庁)

講演③「人口3000人の村に何が起きてるのか？」 森本健次氏(南山城村役場)

講演④「公務員が元気なら、地域は絶対元気になる」 山田崇氏(塩尻商工会議所(塩尻市役所から出向中))

京都環境文化学術フォーラム

スペシャルセッションを京都府立大学で開催します

お知らせ

１２月６日（土）１４：００～１７：００（開場１３：３０）

場所：京都府立大学　稲盛記念会館１階　１０２講義室

http://earth-kyoto.jimdo.com/

申込〆切　11/30（日）

基調講演　「森里海の連環－人と自然を紡ぎ、持続可能社会を」

田中克氏（京都大学名誉教授）

パネルディスカッション　「森里海から考える地球の未来」

［パネリスト］

田中克氏（前述）

畠山信氏（NPO法人森は海の恋人副理事長）

白岩孝行氏（北海道大学低温科学研究所環オホーツク観測研究センター准教授）

古田裕三氏（京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授）

［コーディネーター］

川勝健志氏（京都府立大学公共政策学部准教授）

例年、２月に開催しておりました京都環境文化学術フォーラムスペシャルセッション、KYOTO地球環境の殿堂表彰式、国際シンポジウムを、今年度から少し日を空けて開催することとなり、今年度のスペシャルセッションは京都府立大学（京都政策研究センター）が運営を担当します。

＊京都府立大学は、「京都環境文化学術フォーラム」の構成団体です。

KPIリレーコラム

今回は、第３回セミナーにご協力頂いた、本学大学院生命環境科学研究科の宮藤先生に登場頂きます！

「木の不思議」

京都府立大学大学院
生命環境科学研究科准教授
宮藤　久士

木は、直径10マイクロメートル程度の穴を持つ管がたくさん束になった構造をしています。そんな構造を持つものを人間が作ろうとする、現在のナノテクノロジー技術を駆使しても容易にできるとは思えませんが、木は水と二酸化炭素を原料とし、太陽のエネルギーを利用して難なく作り上げています。また、木は大きなものですと100メートルにもなりますが、これらの管を利用して木のてっぺんまで水を行き渡せています。もし、人間がそんな高いところまで水をくみ上げるとなると大変ですが、木は難なくやってのけます。人間は太古の昔から木を利用して生きてきていますが、いまだに木には学ぶべきことが沢山あるのではないかと感じております。人間よりもはるか昔から絶滅することなく生き続けている木々に畏敬の念を抱きつつ、少しだけその恩恵をいただくべく研究を続けている日々であります。

KPIのfacebookにアクセスして情報をチェック！